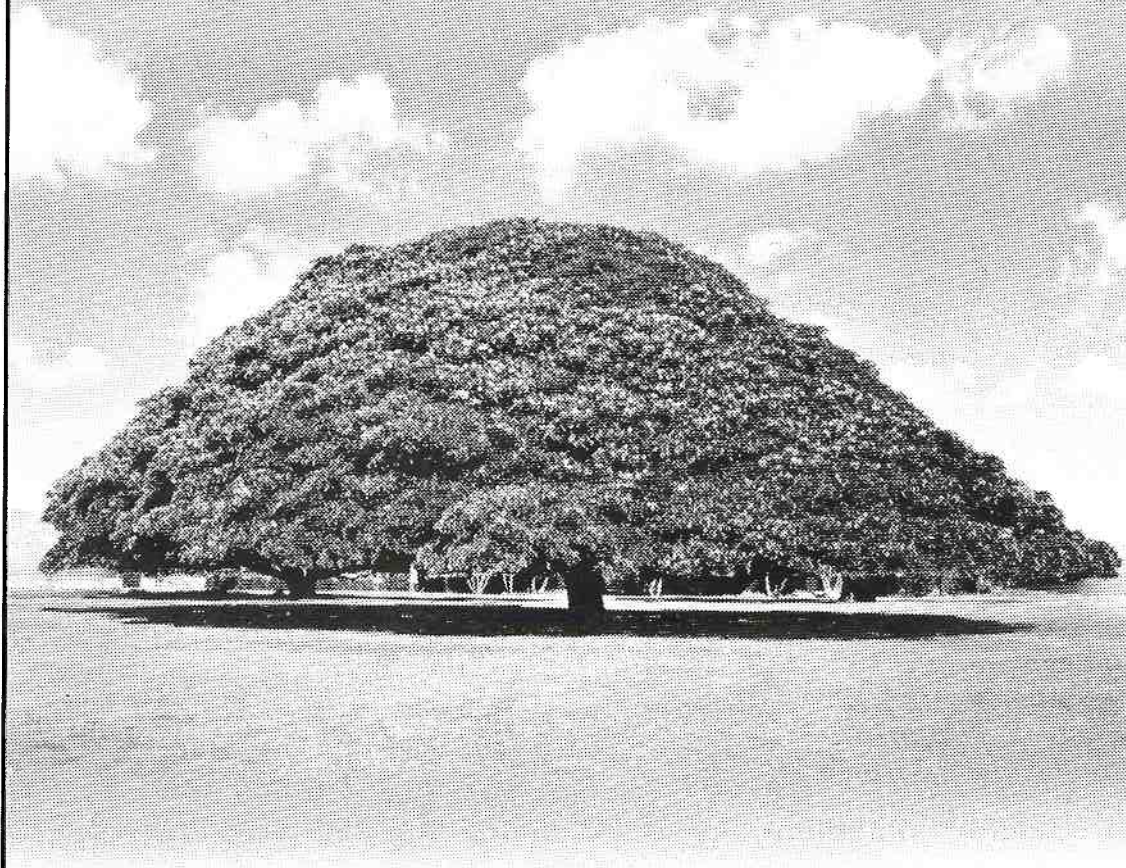


技術の日立

 HITACHI



最先端の技術を使って
暮らしに新しい便利さや楽しさを
ビジネスに創造性や高い生産性を実現すること。
それが、人と技術の理想をめざす
日立の「インターフェイス」の願いです。

Interface

インターフェイスは、「人と技術の理想をめざす」日立のスローガンです。

オリンピック代表が決定!!

第24回オリンピック・ソウル大会 日本代表選手団

監督	野田 清				
	1946年4月15日生	大同特殊鋼	169cm	75kg	
コーチ	津川 昭				
	1951年8月3日生	湧永製薬	180cm	80kg	
支援コーチ	佐藤 要二				
	1949年10月16日生	本田技研工業	180cm	88kg	
支援コーチ	埴 敏				
	1950年8月18日生	中京女子大学	169cm	75kg	
選手					
G K ①	井藤 英忠				
	1959年3月10日生	湧永製薬	185cm	85kg	
G K ⑫	矢内 浩				
	1960年8月1日生	大崎電気工業	189cm	85kg	
G K ⑯	橋本 行弘				
	1965年9月17日生	本田技研工業	185cm	80kg	
F P ②	西山 清				
	1959年4月8日生	日新製鋼	181cm	77kg	
F P ③	山本 興道				
	1960年2月8日生	大崎電気工業	183cm	83kg	
F P ④	玉村 健次				
	1960年12月11日生	湧永製薬	182cm	80kg	
F P ⑤	荷川取義浩				
	1961年12月4日生	湧永製薬	185cm	90kg	
F P ⑥	首藤 信一				
	1965年1月10日生	大崎電気工業	187cm	84kg	
F P ⑦	藤井 泉				
	1959年6月26日生	日新製鋼	180cm	74kg	
F P ⑧	高村 誠一				
	1960年12月11日生	大同特殊鋼	188cm	83kg	
F P ⑨	立木 浩二				
	1960年4月28日生	本田技研工業	184cm	78kg	
F P ⑩	田口 隆				
	1961年7月23日生	本田技研工業	183cm	76kg	
F P ⑪	宮下 和広				
	1961年8月6日生	大崎電気工業	187cm	84kg	
F P ⑬	奥田 新治				
	1959年6月11日生	湧永製薬	183cm	76kg	
F P ⑭	山村 敏之				
	1964年7月9日生	本田技研工業	177cm	70kg	

本年9月よりソウルにて開催される第24回オリンピック大会の日本選手団が、6月18日の日本協会全国理事会で決定、発表されました。

ヨーロッパの遠征では強豪のユーゴと引き

分けるなど、全日本チームの意気もおおい上がつっており、ソウルでの好成績を期待したいと思えます。

尚、野田監督以下選手たちの抱負については、次号でお届けしたいと思います。

第29回全日本実業団選手権 (女子の部)

大崎電気が連覇

5月13日～15日・愛知県半田市体育館

第29回全日本実業団選手権大会女子の部は、5月13日から15日まで愛知県半田市体育館で開催された。

このところ各チームとも戦力の補強、変動の激しい女子実業団チームの戦いは、そのときの状態で勢いに垂るチームが違ったりしているようで、大変興味を持たれたが、昨年優勝の大崎電気が、やはり抜き出た実力を見せ、安定した戦いぶりで勝ち抜いて2年連続4回目の優勝を飾った。

1回戦

JUKI 27 [1215 | 159] 24 ソニー国分

〔戦評〕ソニー・藤元のロングシュート2本から試合が始まったが、初戦のためか両チームともにボールが手につかない面がみられた。前半は、JUKIの守備から速攻への流れがよく得点を重ね、ソニーは藤元が一人でロングで反撃し

た。後半は、ソニーの動きがよくなりサイドシュート、速攻と幅の広い攻撃で3点差まで追い上げたが、20分、速攻で出た崎元が着地の際に負傷し、追い上げムードに水をさされてしまった。ソニー・藤元のロングシュートとJUKI・古谷の速く鋭い動きの目だったゲームであった。(久世雅人)

ジャスコ 27 [1512 | 67] 13 北国銀行

〔戦評〕ジャスコは出足GKの好守と固いディフェンスで、北国銀行の攻撃を10分間1点におさえ、攻めてはスピーディーな攻めで7-1とリードしゲームの主導権を握った。その後も小気味よいロング、サイドで加点、北国銀行も速攻でくだがり前半12-7で終了。後半に入っても、ジャスコのスピードは劣えず後半はじめの5連敗を含め、たまたまかける攻めで15分22-12と差を開いた。北国銀行も最後まで必死のプレーを続けるが、ジャスコのスピードをとめきれず

退場者も出て差をつめきれなかった。ジャスコのスピードが光るゲームだった。(加藤照信)

大和銀行 17 [9 | 8] 13 日

〔戦評〕立ち上がり大和銀行が2点を先取、ビクターはシュートミスを重ね攻めあぐんだ。5分後、ビクターは得点を連取して追いつき調子が出た。大和銀行は鈴木のロングシュートで再びリード、前半残り3分で3点差をつけたが、ビクターは2点を返し前半は9-8。後半開始5分間両チーム無得点、その後ビクターが3点連続得点して逆転、しかし大和銀行も速攻で追いつく、10分後大和銀行のゴールインの審判をめぐる5分間中断。試合再開後、ビクター緊張の糸が切れたよう4連続得点を許した。大和銀行が波に乗り勝った。(竹内泰平)

得0016300120000
日口橋藤田川條松本岡村内
〔小高武長枝下平根太永中山〕

GK [審・渡・楓] PT (2) 13

和見口田木瀬村池本辺川川田
大増坂丸鈴赤上小藤渡袈瀬松
得00344044200000

GK [審・板・倉] PT (4) 17

ブラザー工業 33 [1419 | 4] 8 ムネカタ
〔戦評〕前半ムネカタがパスミス

シュートミスを重ねるうちに、ブラザー工業が板倉、野田のシュートで得点をあげペースをつかみ大差をつけた。後半、ムネカタは佐藤のペナルティーやポストの桜井を45度にあげるなどの攻撃で追いあげをはかったが、ブラザー工業のペースをくずすことができなかった。(村瀬慶洋)

得0004020020000
藤妻藤藤名田井橋野野野木
〔遠我伊佐川太楼高上伸菅佐々々々〕

GK [審・清水・田] PT (3) 8

工数本木永田倉上尾田保田斐
〔大岡荒末原板道松久大野甲〕
得003616312182

2回戦

大崎電気 34 [1321 | 159] 24 JUKI
〔戦評〕小柄なJUKI、スピードで大崎に攻めこむが守りを崩せず、大崎に速攻を許し点差を開ける。大崎は金のパスからポストシュート、パスと見せてのカットイン、尹のロングとリズムに乗った攻撃で前半を終わる。

後半JUKIは尹へのマンツーマンが成功し、大崎のリズムを崩してパスカットから速攻、相手のミスから速攻と流れを呼びこんだ。し

かし、その流れを食い止めたのは尹。尹のフリースローからのシュートにより大崎は再び落ち着きを取り戻し、その後は互いに点の取り合いとなった。JUKIの後半のはつらつとした試合運びの印象が強く残るゲームであった。(日比登史男)

得角 0607010136
塚藤田山原崎谷林谷
[JUKI]大 石佐上嶋内伊柴古大熊
GK { F P [審・門山井]
P T (2) 24

大崎木片田尾永川原口田木 金尹
大佐宗森松須前梅江野鈴
得0033045501106
37 (4) P T

ジャスコ25
2 P T C O
11 11
1 1
2 2
25日立栃木

〔戦評〕大面白熟した試合であった。前半の立ち上がりから一進一退の展開。ジャスコが先取、日立が逆転、またジャスコが逆転。前半終了直前に日立が追いつく。

後半は、ジャスコが終始試合の主導権を握り、20分後近藤のセンターからの連続のミドルシュートで3点差をつけた。一方日立は尾花、中村のロングシューターがそれぞれ5点、4点をあげて必死に粘り、ついに終了30秒前に同点

にして延長戦に持ち込んだ。

勢いに乗った日立が延長戦でリード、後半のはじめに2点引き離れたが、ジャスコもあきらめずにすぐにサイドシュートで追いつき、40秒前にキャプテン服部が決めて引き分けた。P T CでジャスコはG Kが2本とも止め、勝利をものにした。(竹内泰平)

得0016195122000
立本津原永岸苗村田井鶴塚
[日岡梅管神山尾中岡新吉飯堤
G K { F P [審・清水田]
P T (1) 25

田林部木田藤美辺井久田
ジャ田林部木田藤美辺井久田
得00201200780014
25 (6) P T

大和銀行22
1012 119
20 立石電機
山 鹿

〔戦評〕双方とも積極的な前へつめる固いディフェンスとG Kの堅実なキーピングが見応えのある攻防となった。大和は丸田、立石は野嶋、橋本を軸に得点を重ねたが、常に大和銀行がリードを保ち、前半を12-9と3点差で終了。

後半の立ち上がり、立石が3点連取して同点に追いついた。その後一進一退が続いたが、後半15分から大和がサイド、ロング、ロングと3点を連取し、19-16と再び3点差をつけ立石が粘りをみせて1点差まで追い上げたが、及ばな

かった。(加藤照信)

得0000201761003
石本下口内口中田嶋本津山嘉
[立岡竹山山江田横野橋武中比
G K { F P [審・板岩本倉]
P T (2) 20

見口田木瀬村池本辺川田高
大増坂丸鈴赤上小藤渡巖松古
得00103321210000
22 (3) P T

シャト 25
1312 126
18 ブラザー
レーゼ 工 業

〔戦評〕後半、固さの見えた両チーム、ロースコアの展開となったが、リードしたのはシャトレーゼ。ブラザーのミスに乗じた速攻とペテラン李を中心とした多彩な攻めで着々と得点を重ねた。

後半に入ると、ブラザーの荒木のステップシュートで反撃し、一進一退の攻防となるが、前半のリードに守られてシャトレーゼが勝利した。(久世雅人)

得008111201130
工藝本木永田倉上尾田保田斐
[ブ大岡荒末原板道松久大野甲
G K { F P [審・渡楓辺]
P T (2) 18

山原崎道沢沼林寺原方出
シャ丸高嶋海松黒小江野李井
得005734100140
25 (6) P T

敗者復活戦

日本 34
1519 14
9 ソニー国分
ビクター

〔戦評〕前半序盤、ソニー国分のミスに乗じ、日本ビクターが武藤のボール回しから根本、下條、山之内らロング、ミドル、固いディフェンスからの速攻を次々とくり出し、次第にリードを広げていった。ソニーもよく足を使って攻めていくのだが、シュートミスが多く、またオーバーステップ、パス、キヤッチミスなどもあり、ロングポストが散発的に決まるだけであった。

後半に入っても、ビクターは足を使った多彩な攻撃を展開し、一方的な試合となつてしまった。(鈴木敦雄)

得00020104002
石元木原石郷口元本房尾
[ソ多阿山斜宮白東山藤楠当永
G K { F P [審・渡楓辺]
P T (3) 9

口橋藤田川條松本岡村内
日小高武長枝下平根太永中山
得005713052245
34 (5) P T

北国銀行28
1612 15
14 ムネカタ
〔戦評〕前半立ち上がりから北国銀行のペースで試合は進行し、ム

ネカタのミスにつけこみ速攻などで着実に得点。一方ムネカタは攻めがやや単調になり、なかなか得点ができず12-5で前半終了。

後半になつても北国のスピードは落ちず一方的な試合となった。しかし、ムネカタの林、松田のフアイトあふれるプレーには好感が持てた。また、北国は大差をつけながら余裕なく、ミスをくり返しているのは気にかかる。(澤保司)

得000514100012
藤妻藤藤名田井橋野野野木
[ム遠我伊佐川太桜高上仲菅佐々
G K { F P [審・門山井]
P T (0) 14

戸井田 真崎 静 木
国北 林 川 堀川 金 森
得005433321430
28 (2) P T

立石電機 24
1212 18
14 JUKI
山 鹿

〔戦評〕前半、立石は野嶋が連続2点先取したが、JUKIもすぐに返撃し同点とした。その後立石は確実に守り、相手の攻撃を封じ攻めては速攻で得点を重ねた。18分後、山内がポストシュートを2本、横田がドリブルシュートと3点連取し、5点差をつけて試合の主導権を握つた。

後半の立ち上がり、JUKIは反撃に出たが4点差まで追い上げたのにとどまった。立石は8分後

再び3点連取して突き放し、勝負を決めた。調子に乗る立石は、一人ひとりのがびのびとプレーを続け快勝した。(竹内泰平)

得角 0 0 4 0 4 0 0 1 1 1 1 3
塚藤田田山口原谷林谷
[JUKI]大 石佐上嶋内樋伊古大熊
G K F P (審・清水) P T (1) 14

立石 本下口内口中田嶋本津山嘉
[立]岡竹山山江田横野橋武中比
得0 0 1 2 0 1 1 5 6 3 1 4
G K F P (審・太田) P T (4) 24

日立栃木 26 [1214 | 117] 13 プラザ
〔戦評〕前半開始、日立のサイド、カットインに対してプラザも荒木のステップなどで対抗し、一進一退の攻防が続いていたが、前半10分過ぎから日立は新井のカットイン、神永のサイドなど多彩な攻撃をくり出し、リードを広げ、前半を14-7とリードをして終った。

得0 0 4 0 1 4 2 0 0 1 1 0
〔工〕数本木永田倉上尾田保田斐
〔プ〕大岡荒末原板道松久大野甲
G K F P (審・板倉) P T (4) 13
〔立〕本津原水岸苗村田井鶴塚
〔日〕岡梅青神山尾中岡新吉飯堤
得0 0 2 2 4 1 3 4 5 6 0 1 0
26 (3) P T

後半に入り、流れの悪いプラザに対して日立は新井の速攻、カットインなどで5点連取し、15分過ぎには22-7として大勢を決した。その後、プラザも速攻などで追い上げたが及ばなかった。(鈴木敦雄)

準決勝

大崎電気 37 [1819 | 1212] 24 ジャスコ
〔戦評〕前半、大崎のうまいパス回しによりジャスコのディフェンスを広げ、金のロング、江口のサイドなどで12分までに5点差をつける。一方ジャスコは、13分の速攻をきっかけにペースをつかみ、速攻がよく決まり出したが、セツト力の勝る大崎は着実に得点し19-12で前半を終了。

後半になっても大崎の勢いは衰えることなく速攻、サイドシュートなどにより得点をあげていった。ジャスコは、シュートミス、キー

得0 0 0 0 3 0 5 0 0 3 9 0 4
〔ジャ〕田林部木田藤美辺井久田
〔ジ〕吉小服佐石近池渡川池稲
G K F P (審・渡辺) P T (8) 24
〔崎〕木片田尾水川原口田木
〔大〕佐宗森松須前梅江野鈴金尹
得0 0 3 3 3 0 4 5 5 0 1 10 6
37 (4) P T

パーの好守などによりなかなか得点をあげることができず、大量得点差となった。(澤保司)

大和銀行 26 [14 | 8] 14-8
3 | 2 26 シャット
1 | 2 レーゼ
2 P T C 1

〔戦評〕前半リードを奪ったのは大和。足がよく動き、速攻で次々と得点を重ねた。シャットレーゼは攻撃がうまくかみ合わず元気がなかった。しかし後半に入ると、シャットレーゼの海道がロングシュートを次々と決め、終了間際に同点に追いついた。

延長に入っても海道の左腕がうなり、一進一退の攻防が続くが、ここでも結着がつかずP T Cにもつれこんだ。結局、前・後半ともにコンスタントに得点した大和の丸田の踏んばりでシャットレーゼを振り切った。(久世雅人)

得0 0 1 1 3 4 0 0 1 0 2 0 5
〔ト〕山藤崎道沢沼林寺原方岸
〔シャ〕丸工嶋海松黒小江生山李
G K F P (審・清水) P T (4) 26
〔和〕見口田木瀬村池本辺川川田
〔大〕増坂丸鈴赤上小藤渡蓑瀬松
得0 0 1 1 2 7 3 0 2 0 0 0 0 1
26 (1) P T

11・12位決定戦

ソニー国分 23 [1013 | 147] 21 ムネカタ
〔戦評〕前半、ソニー国分が藤元を中心にロングシュート、ポストを使ったプレーなどでじわじわと得点を引き離していった。

後半、ムネカタの太田がロングシュートをたて続けに決め、猛反撃を見せた。残り5分には2点差まで追い上げたが、惜しくも及ばなかった。(青木英樹)

得0 0 0 4 0 1 0 1 0 3 0 0 3
〔ネ〕藤妻藤藤名田井橋野野木
〔ム〕遠我伊佐川太桜高上伸菅佐
G K F P (審・門山) P T (0) 21
〔石〕石元木原石郷口元木房尾
〔二多〕阿山斜宮白東山藤楠当水
得0 0 0 3 0 1 4 7 0 4 4
23 (2) P T

9・10位決定戦

日 本 28 [1414 | 811] 19 北国銀行
ビクター
〔戦評〕前半、立ち上がり両チームが点の取り合いとなったが、北国はセンターから林がスカイプレーを見事に決めた。一方ビクターは、相手に連続得点を許さず取られたら必ず取り返すという集中力

を発揮、8分後に3点を連取すると、この点差をつけたまま前半を14-11で終了。

後半、ビクターは高い守りで相手のロングシュートをカットし、攻めでは速攻とたくみなパスワークからのポストプレーで得点を重ねた。北国は10分過ぎまで3点差のまま必死に粘ったが、その後4連続得点を許して突き放された。(竹内泰平)

得0 0 0 5 3 5 0 0 4 1 1 1 0
〔国〕戸井田 田真崎 静 木
〔北〕木岩上 松北川 北 鈴
G K F P (審・清水) P T (3) 19

7・8位決定戦

〔日〕口橋藤田川條松本岡村内
〔比〕小高武長枝下平根太永中山
得0 0 2 1 0 1 3 7 2 1 1 1
28 (5) P T

J U K I 25 [1213 | 810] 18 プラザ
〔戦評〕前半開始早々、J U K I は古谷、大林を中心としたスピードあふれる攻撃で着々と得点を重ねたのに対して、プラザはJ U K I の早いつめて荒木のステップなどを阻止され苦しい展開となったが、その後の野田のサイドなどで盛り返す。しかし、20分過ぎからJ U K I が速攻などで次第にリ

ードを奪い、13-10で前半を終了。後半に入っても、JUKIがスピードに乗った攻撃を展開するのに対し、ブラザーはシュートミス、またはJUKIのキーパーの好捕もあって得点をあげられず、20分過ぎには勝敗を決定的なものとされてしまった。(鈴木敦雄)

得004133400300	工	本木永田倉上尾田藤斐	保	大岡荒末原板道松久野進甲	25	(0)	PT	(4)	18
得00020033352000	立	本津原永田岸苗村田井鶴塚	日	岡梅菅神柳山尾中岡新吉飯	22	(1)	PT	(1)	18

5・6位決定戦

得005020300843	角	塚藤田田山原崎谷林谷	立	石	0	(0)	PT	(4)	18
得0012320093011	立	岡竹山山江田横野橋武中比	石	本下口内口中田嶋本津山嘉	22	(1)	PT	(1)	18

3・4位決定戦

得00012320093011	立	岡竹山山江田横野橋武中比	石	本下口内口中田嶋本津山嘉	22	(1)	PT	(1)	18
-----------------	---	--------------	---	--------------	----	-----	----	-----	----



する。その後、日立・尾苗のロング、岡田のポストプレー、立石は野嶋のロングを中心に一進一退の熱戦を展開、前半を3点差のまま終了。後半に入ると、立石のディフェンスが勝り、GK岡本がたて続けにシュートを止め、速攻も決まり出して試合を逆転、粘る日立を振り切って勝利をものにした。(伊藤和宏)

〔戦評〕ジャスコのスローオフで始まった3位決定戦、序盤戦はジャスコ・王、シャトレレーゼ・海道を中心にゲームが展開した。しかし、前半20分過ぎからジャスコはシャトレレーゼの単調な攻撃とミスに乗じて速攻で得点を重ね、3点差で前半を終了した。ところが、後半に入ると流れはシャトレレーゼへ。海道がシュートを次々と決め、波に乗ってしまった。勢いは最後まで衰えず、結局シャトレレーゼが2-17でジャスコを下した。(久世雅人)

得000220000550005	得	田林部木田藤田辺井田田	王	吉小服佐石近池渡川武稲	22	(3)	PT	(1)	17
------------------	---	-------------	---	-------------	----	-----	----	-----	----

決勝

得00021150110200	シャ	丸高星嶋海松黒小野江生山	大	崎電	22	(3)	PT	(1)	17
-----------------	----	--------------	---	----	----	-----	----	-----	----

〔戦評〕大和のスローオフでゲームが始まり、大和・丸田が45度からシュートを放つが大崎の梅原、尹の壁につかまる。丸田のシュートを中心の組み立てを図る大和はリズムに乗れず、単発の攻撃は成

攻するものの金を中心とした大崎の流れに対抗できず、前半で10点差をつけられる。後半、大和・丸田のロングが決まりですが、大崎の守りを崩すことには至らず、点差を縮めることができない。大崎は金と尹を交代で出場させる余裕を見せる。金のパステクニックが目立ち、大崎の守備の堅さを感じられたゲームであった。(日比登史男)

得00132311070000	得	高増丸鈴赤上小藤渡嬰木松	和	浜見田木瀬村池本辺川瀬田	22	(4)	PT	(2)	27
-----------------	---	--------------	---	--------------	----	-----	----	-----	----

〔個人賞〕
▽優秀監督賞 佐藤章治(大崎電気)
▽新人賞 比嘉晴美(立石電機山鹿)

- ▽ベスト7
GK 増見果実(大和銀行)
F P 金 玉花(大崎電気)
尹 秉順(大崎電気)
丸田 紀子(大和銀行)
王 凱洋(ジャスコ)
海道 元子(シャトレレーゼ)
松尾 輝子(大崎電気)

今日のヒーローは
背番号6。

ヒーローになる選手は、どこか輝いている。
新発売のコンパクトカラー「6inch Magazine」も、ファッションブルでスポーティで、感度バツグンのパーソナルタイプ。輝いているナー。

6型コンパクトカラーテレビ
CX-60
標準価格79,800円(AC電源付)

ハンドボールニコろを満たす

Magazine
6inch

ハンドボールのゴールキーパーにおけるシュートの顔面直撃による損傷の実態調査

清水 宣雄*・小宮山政敏*・岡本 研二**・大西 武三***
(1987年9月12日受理)

The Report of
Facial Injury of Goalkeepers in Handball
Norio SHIMIZU*, Masatoshi KOMIYAMA*, Kenji
OKAMOTO** and Takezoh OHNISHI***
(Received September 12, 1987)

<はじめに>

ハンドボール競技のスピード化、高度化に伴い、シュートの成功率を向上させるために、ゴールキーパーの弱点である顔面付近を狙うシュートが頻繁に行われるようになった。その結果、シュートされたボールがゴールキーパーの顔面を直撃するケースが増加し、それに伴い、ゴールキーパーが損傷を被るケースも増加していると思われる。また、眼球損傷などによって、ゴールキーパーの選手生命が脅かされる事態も発生している。しかし、現行のルールにおいて、このケースを防止するのは非常に困難なことであり、また、損傷を防止するための有効な防具もまた開発されてはいない。


そこで、本研究においては、ハンドボール競技のゴールキーパーにおける、シュートの顔面

直撃による損傷の実態を調査し、ルール改正及び、防具開発のための基礎的資料とするものである。

<方 法>

全国の中学、高校、大学、実業団、713チームの責任者に対して、郵送によるアンケート調査を実施した。アンケートの内容は表2に示したように、シュートの顔面直撃によって、医師の診察を必要とする損傷を被ったゴールキーパーを知っているかどうかを質問し、知っている場合には、損傷を与えたシュートの状況、損傷の部位・程度などについて尋ねた。さらに、損傷を被ったゴールキーパーを知っているかどうかに関わらず、回答者全員にこの問題に対する意見を求めた。

また、世界における傾向を調査するために、

 “まごころのおつきあい”が私たちのモットーです。



あなたの銀行

ホッ コク

北 國 銀 行

本店

石川県金沢市下堤町

店舗

石川・富山・福井

東京・大阪・名古屋

京都・130か店

表1. 英文アンケート

The questionnaire about goalkeeper's injury
by a ball striking against their face.

Your Country.
Your Post of Handball Fedaration
Your Name

Please answer the questions.

1) How many teams do you have in your country?
about

2) In your country, have you ever had any goalkeepers injured by a ball striking against their face?
a) yes b) no (If your answer is "no", please pass to that last question.)

3) How many injured goalkeepers do you have in a year?
about

4) Which part of face was injured in that case? (Please mark without limit.)
a) head b) eye c) nose d) cheek
e) moouth f) ear g) chin h) neck
i) others ()

5) Especially, do you have any goalkeeper whose eye was damaged in that case?
a) nobody b) How many? about

6) In your country, what do you think about this problem?

Thank you for your cooperation.

85カ国のハンドボール協会に対して、郵送による英文のアンケートを実施した。アンケートの内容は表1に示した。

<結果と考察>

国内においては、429チームの責任者からア

ンケートが回収され、(回収率60.2%) 103件の損傷について、データを得ることができた。

また、国外からは、25カ国から英文アンケートが回収された。(回収率29.4%)

その結果、次のことが明らかになった。

図1に示したように、回答者の44.3%がマスクの必要性を述べており、ルールでの規制を望



イライラ、目を傷めることを避けたい。かかひきつる。目をまぶさす。かかひきつる。

自動糸調子で縫う。自動糸調子で縫う。自動糸調子で縫う。

ツシないね。

brother

新発売

Raxina

自動糸調子で縫う

- ZZ3-B777 現金価格174,000円
- レッド、ホワイト、ブラックの3色

ブラザー工業株式会社
名古屋市長巻区稲田2-35 4F
TEL: (052)824-2511(代表)

表2. 和文アンケート

ハンドボールにおけるシュートの顔面直撃によるゴールキーパーの損傷の実態調査アンケート

所 属 _____ お名前 _____

A) 7人制ハンドボールにおいて、シュートの顔面直撃によって、医師の診察を必要とする損傷を受けたゴールキーパーをご存じですか。

a) 知っている b) 知らない

(b)とお答えの方は、以下の問いにはMにだけお答え下さい。

B) 損傷をうけた、そのゴールキーパーは誰ですか。

a) ご自身 b) 指導された選手 c) チームメイト d) 相手チームのゴールキーパー
e) その他 ()

そのゴールキーパーをご紹介下さい。

氏 名 _____ 連絡先名 _____ Tel _____

C) そのゴールキーパーの性別? a) 男 子 b) 女 子

D) そのゴールキーパーが損傷を受けたのは何年頃ですか。 昭和 _____ 年 _____ 月 _____ 頃

E) そのゴールキーパーが損傷を受けたときの所属?

a) スポーツ少年団 b) 中学 c) 高校 d) 大学 e) クラブチーム f) 実業団
g) 日本リーグ h) 全日本

F) 損傷を受けたのはいつですか。 a) 練習中 b) 練習試合 c) 公式試合

G) 大会のレベルは? (F)でc)と答えた方のみお答え下さい。

a) 地区大会 b) 都道府県大会 c) ブロック大会 d) 全国大会 e) 日本リーグ
f) 親善試合 g) 国際大会

H) どんなシュートで損傷を受けましたか。

a) サイド b) ポスト c) ペナルティー d) 速攻 f) カットイン g) ロング・ミドル
h) その他

I) どのような損傷を受けましたか。

a) 頭 部

1) 軟部組織の損傷 (出血) 2) 頭蓋骨折 3) 頭蓋内血腫 (意識消失) 4) 脳震盪 (意識消失) 5) 脳挫傷 (意識消失) 6) その他 ()

b) 顔面部

1) 軟部組織の損傷 (出血) 2) 鼻骨骨折 3) 頬骨骨折 4) その他 ()

c) 眼 部

1) 眼球破裂 2) 網膜剥離 3) 視神経管骨折 4) 網膜出血 5) 結膜下出血
6) 眼瞼裂傷 7) 外傷性白内障 8) 眼窩底骨折 9) 角膜白斑 10) その他

d) 耳 部

1) 鼓膜損傷 2) 耳介損傷 3) その他 ()

e) 口腔部

1) 歯牙損傷 2) 舌損傷 3) 上顎骨骨折 4) 下顎骨骨折 5) その他

f) 頸 部

1) むち打ち症 2) その他 ()

h) その他 ()

J) 損傷の程度はどうでしたか。

a) 医師の診察だけ b) 治療を受けた c) 通院した d) 入院した

K) 手術を必要としましたか。

a) 必要とした b) 必要としなかった

L) 復帰に要した時間?

a) (_____ 年 _____ 月 _____ 週) 間で復帰した b) 復帰できなかった

M) ゴールキーパーの顔面の狙ったシュートの顔面直撃に関して、ご意見をお聞かせ下さい。

む意見も34.9%あった。一方、競技の特性上、仕方がないとする意見が14.7%あったが、アンフェアな行為として、顔面付近はシュートをさせない指導をすべきとする意見も13.2%あり、意見が分かれている。しかし、この問題を重大なものと考えている意見が大勢を占めた。

図2から、損傷を与えたシュートは、サイド(44.2%)速攻(29.2%)、ポスト(16.8%)からのものが多く、動きながらの至近距離からのシュートであることが判る。同じく至近距離からのペナルティーシュートにおいて損傷を与えたケースが4.4%と少ないのは、ペナルティーシュートが静止状態から打たれるためであると考えられる。

損傷の部位に注目すると、図3から明らかに、眼部における損傷が非常に多いことが判る。

一方、世界の傾向に注目すると、表3から判るように、ハンドボールが最も盛んな、ヨーロッパ地域の国においては、眼部の損傷が少なく、頭部・顔面部(鼻部)の損傷が多い。

これは、日本人(非白人)の眼窩部の特性(眼球突出)によるものと考えられる。

何故ならば、筆者らの研究¹⁾によると、図5に示した眼窩部の計測箇所の様式図におけるDC・DEの数値に、表4から明らかなように、日本人と白人において、有意な差が見られたからである。

日本人は眼球が突出しているために、眼部での損傷が多く、白人は、前頭部・鼻部が張り出しているために、頭部・顔面部での損傷が多いと考えられる。

さらに、図4から眼部の損傷の中でも、網膜におけるものが最も多く、かなり強い力が加わったと考えられる。

以上のことから、シュートの顔面直撃による損傷を防ぐためには、審判の主観による判断に頼らざるを得ないルールを制定するよりも、眼部と顔面部(鼻部)を保護するマスクを開発することが望ましいと考えられる。

注

- 1) 小宮山政敏・清水宣雄、「生体計測手法によって求めた白人と日本人における眼窩部外観の違い」、『国際武道大学紀要』、第1巻、1985年、pp.27-30

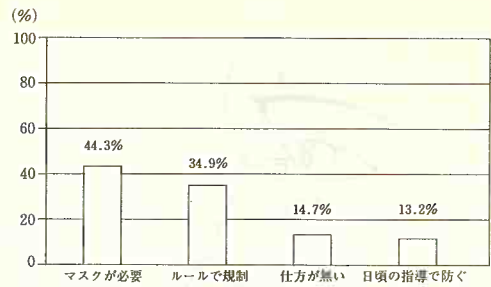


図1 シュートの顔面直撃に対する意見

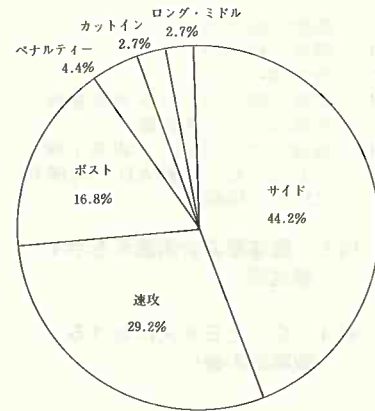


図2 損傷を与えたシュート

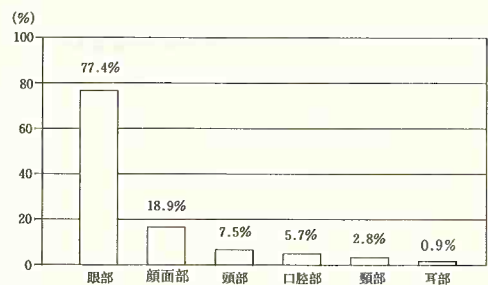


図3 損傷の部位

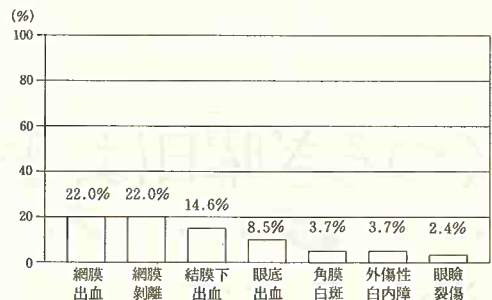
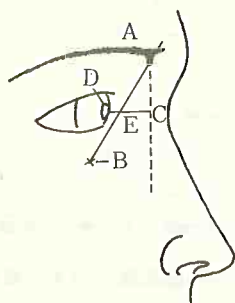


図4 眼部損傷の種類

表3 アンケートによる各国のチーム数とシュートの顔面直撃による損傷部位



- A 眼窩上縁の点
- B 眼窩下縁の点
- D 角膜頂
- BC 眼窩上縁の点(A)を通る垂線と角膜頂(D)との距離
- BE 眼窩上縁の点(A)と眼窩下縁の点(B)を結ぶ直線ABと角膜頂(D)との距離

図5 眼窩部の計測箇所を示す模式図

表4 白人と日本人における眼窩部の違い

	DCの平均±(S. D.)	DEの平均±(S. D.)
白人	10.51 ± (2.72)	4.83 ± (2.35)
日本人	5.83 ± (3.33)	0.88 ± (1.66)

1%水準で有意差あり

国名	チーム数	傷害部位							
		eye	head	nose	cheek	mouth	ear	chin	neck
Austria	700	○	○						
B. R. D.	34000		○						
Bahrain	38	○		○		○			
Belgium	500	○	○	○		○			
Canada	500			○					
China	720	○	○	○		○			
Cyprus	15								
Ethiopia	25	○							
Finland	160								
Hong Kong	30	○			○				
Hungary	2500			○					
Iceland	230		○						
Iraq	80								
Italy	600								
Jugoslavia	1800		○	○					
Luxembourg	18								
Mexico	60								
Norway	5500		○						
Poland	405								
Spain	2320			○					
Sweden	2000								
Switzerland	2200								
Tanzania	40	○		○					
Turkey	460					○		○	
U. S. S. R	220		○	○					

この研究は、昭和61年度科学研究費補助金によって行われた。(清水宣雄「ハンドボールのゴールキーパーにおけるシュートの顔面直撃による損傷の実態調査」課題番号61780163)

* 国際武道大学体育学部体育学科

** 茨城大学教育学部体育科

*** 筑波大学体育科学系

くつろぎ曜日は、手づくりを

●ファンシーコースター ●化粧ケープ ●エプロン ●テレフォンカバー ●ラケットカバー ●クッション

楽しみます。

ライフステージをおしゃれに彩る 小物たちを、ミシンでつくってみませんか?

the MISON コンピューターミシンH2L-7100型

東京電機工業株式会社 〒182 東京都調布市国領町8-2-1 ☎03(480)1111

大阪高校選抜 西独遠征報告

3月20日から4月4日までの16日間、大阪高校選抜チームが4回目の西独遠征を行なってきました。ここにその報告を掲載いたします。

〔親善試合結果〕

〔男子〕

○第1戦 (3月22日)	スタイン	34	(1816 1513)	28大	阪
○第2戦 (3月23日)	バツハ	20	(8 8)	19ム	選抜
○第3戦	大 阪27	(19 8)	(1212 1212)	24	H S G プエルム
○第4戦 (3月26日)	大 阪25	(1312 1410)	24	オーバー	プアルツ
○第5戦 (3月28日)	G W D ミン	2218	(1813)	31大	阪
デン・タン	40	(2218 1813)	31大	阪	
カーゼン	40	(2218 1813)	31大	阪	
○第6戦 (3月29日)	大 阪41	(2120 8 11)	19	T V ベーター	スハーゲン
○第7戦 (3月30日)	大 阪31	(1516 1212)	24	T U S ジュ	トヘマーレ
○第8戦 (4月2日)	大 阪30	(1614 1411)	25	エッセン	

◇通算6勝2敗
○練習試合

グルメルス	(2811 15 4)	19大	阪		
バツハ	(1115 5 3)	8大	阪		
○第1戦 (3月22日)	スタイン	26	(1115 5 3)	8大	阪
○第2戦 (3月23日)	バツハ	13	(6 4)	10大	阪
○第3戦 (3月25日)	選抜	13	(7 6)	14大	阪
○第4戦 (3月26日)	オーバー	17	(10 7)	14大	阪
○第5戦 (3月28日)	プアルツ	17	(10 7)	14大	阪
○第6戦 (3月29日)	大 阪23	(1112 10 9)	19	T シュテマー	V
○第7戦 (3月30日)	大 阪20	(14 6 11)	20	T V ベーター	スハーゲン
○第8戦 (3月31日)	大 阪21	(15 6 8)	15	T U S ジュ	イトヘマン
◇通算3勝4敗1分	大 阪30	(1119 8 8)	16	A S C O R R	ベ

〈遠征チームの反省〉

〔男子〕

- 初戦に負けたのが惜しかった。
- 遠征の前半に、盛り上がり欠ける所があり、試合中に無駄があったように思う。
- 相手のミス、チャンスをできなかった。
- 勝率では勝ち越しているが、一つ一つのプレーを考えると、まだまだ力不足。
- 結果は悪くなかったが、いろいろな面においての切り替えをもっとスムーズにするべきであったと思う。観光と試合の両方にもっと力をいれたらよかった。
- 良い時と悪い時の波が激しく、調子に差がありすぎた。
- 前半はミスが多く、せつている時だったので負ける結果になった。
- 相手のチームと違って、ミスが目立っていた。もう少し大事にしていれば、楽な試合が増えたと思う。
- みんなが乗ると強いチームだが、沈んでしまうと大変弱かったと思う。
- いろいろなチームと戦っている間に、個人的にもチームもレベルが上がった。

○ゲームは9試合のうち、中盤の頃は全く集中力が欠けていて、ボールへの恐怖心があったが、最後の方では、ボールについていけるようになった。生活面では、ドイツの同年代の人たちと、仲良く友達になることができた。試合の方ではいろいろな怒られた生活面ではけっこうよかったと思う。

〔女子〕

- 3勝4敗1分けという悪い成績に終わりとても残念だ。観光の時なども行動が遅く、先生方にも迷惑をかけた。
- 初めのゲームではみんなバラバラだったような気がする。移動もガラガラしていて、怒られることがたびたびあった。
- チグハグなプレーが続くと、とことんチグハグになり困った。
- 気持ちの面であわないところを持ったまま試合を続け、結果的に良い成績をあげられないまま終わってしまった。早く話し合いをしてみるべきだった。
- まとまりに欠けていたように思う。話し合ってから少しましになった。
- 日本での練習ゲームではもっとコンピプレーもできていたのに、ドイツでは全くできなかった。ディフェンス面も同様、ポストをみるものと45度を見るものと連絡がとれず、ぬかれるパターンが多かった。
- パスミス・キャッチミスが多かった。それさえなければ勝てる試合もあった。
- 始めの方はミスが多かった。自分もとても緊張していた。勝てる試合をミスで落としたのは悔いが残る。
- もっと元気を出し、自分たちの力を出し合って1戦から勝ちたかった。
- 前半はミスも多く全然だめだったが、後半は自分のもっているものをだせたと思う。

〈ドイツチームの印象〉

〔男子〕

- とにかく大きかった。2倍近くもある選手が自分と同じ年と知って驚いた。
- ドイツチームは強いチームと弱いチームの差があった。遠征後半にやったグルメルスバツハなどはとても強かったし、キーパーもうまかった。背が高く大きいので、ポストで前に立たれると、フロッターリーの動きやボールが見えなかったのが印象的である。
- 2戦目の相手が4部の1位のチームで、特にパス回しが速かった。背が高いし、速攻が速かった。
- からだつきの違いに驚いた。シュートの球は速いし、ボール移動もきちんできていた。

○予想どおり大きくて力のある選手が多かった。でもけっこう雑なプレーをするチームもあったように思う。また、レセブションの時に南の方のチームはおもしろい人がいたけれど、北にいくほど付き合にくい人が多いように思った。

○南ドイツの方はクラブ的な要素が強くて和気あいあいとやっていったと思う。北にいくほど実力的な要素が強くて、素晴らしいチームだった。背の高さや体力面では驚いた。

○背が高くてパワーがすごい。フライントは少なく、ポストプレーが多い。速攻がない（ゆっくり攻めてくる）。シュートに對する執着心がすごい。
○ウォーミングアップ方法が違った。

○力が全然違う。シュートのほとんどを身体ごと倒れ込んで決める点があった。

○日本チームとは体格も違うし、シュートの威力も違う。今回は、相手がシュートをゴール枠からはずしていたからよかつたが、はいってれば負け試合も多かったはずである。

○パワフルで高さがあり、個人にシュート力があった。引きつけてからのパスも、どこからでもシュートをねらえる力があつてこそだと思う。

○最初の方はあまり強いとは感じ

られなかったが、グルメルスバッハやエッセンなどのチームは、楽しいハンドボールとスピードがみれた。

○背が高いのにロングにばかりに頼らず、積極的にポストを使ってきた。

○背の高さと体重がすごく、そのうえ動きもよかつた。204cmには驚いた。

〔女子〕

○とにかく大きい。パス・キヤッチがきちんとしている。パワーがある。

○速攻は少なかったし動きも特に速いわけではないが、パワーがある。

○自分たちより背が高いせいか、迫力があつた。

○一番ポイントと思つたのは、ポストシュートだと思つた。粘り強い。

○男か女かわからないぐらい大きいなと思つた。もう少しレセブションの時、明るくしてくれるかなと思つたのが間違ひだった。

○からだの大きい人が多かつたのでびっくりした。しかし、パスミス・キヤッチミスも相手にみられ、日本が負けたチームでも勝てる試合は沢山あつた。

○大きくてこわかつた。ボールが速かつた。よく動き回る。パスが正確。

○大きいので、当たりにいっても中途半端だと打ってくる。あま

り鋭いフライントなどはなかった。身体をみていると、ロングシュートをどんどんきめてくるように思つたが、想像していたほどではなかつた。速攻も多くなかつたと思つた。

○基礎がしっかりしていると思つた。パワーがあり、シュート力もあつた。

○小さい頃からやっているので、パスは正確。シュートも身体の柔らかさと粘りでつかまつても腕の振りで決まるパワーがある。フットワークがうまい。

○少しにおい人が多かつた。チームに1人か2人しか足の速い人がいなかった。馬力はあるが、おもつたより強くなかつた。

○腕の振りが速い。つかまれていても中に入ってきて積極的なプレーをする。

○背が高く、腕が長いから得をしていると思う。でも逆速攻や攻撃をしてくるとき、遅いのでこちらも楽だつた。

〈日本チームがみならうべき点〉

個人技術：GK

〔男子〕

○ボールをよくみて、身体も柔らかい。

○足もとが強い。特にグルメルスバッハのGKは反応も速くすこいの一言。とにかくシュートのスピードになれ最後までボール

にくらいつける努力が必要。○ボールが手から離れるまで動かない（特にグルメルスバッハ）。シュートを止めた後、素早く速攻か、遅攻かの判断をしていた。○柔軟性とボールへの読み。位置どりが正確にできること。

○日本チームのGKもノーマークシュートをとめていたけれど、西独チームのGKはもつと判断が速い。

○下をとめるのに、足がすぐに出ていた。

〔女子〕

○日本のGKの方が優れていると思つた。

○ボールに對する集中力や、どんな取り方でもいいからボールをとるといふ、強い意志を持っている。

○身体が柔らかく、フットワークが良い。

個人技術：F P

〔男子〕

○西独チームは強引なところがあつた。

○シュート力とパス回し。

○ボールに對するしつこさ（絶対シュートしようとする粘り）。

○防衛も1対1を確実に守らねばならない。



日本ハンドボール協会検定球 HL-3, HL-2



ALL OVER THE WORLD
IRUMA
ハンドボール

入間川ゴム株式会社
東京・埼玉・大阪・名古屋

○ポストプレーなど、身体を完全にキーパーからはずしてシュートしている。身体を捨ててシュートを決める。

○どこからでもシュートをねらう「どんよくさ」と、走り込んで打ちおろす強烈なシュート。防御は痛いほどの激しいロングのチェック方法。

○自チームのボールになると、速攻か遅攻かにかかわらず1枚目2枚目と走ってくる。

○2歩ステップからのサイドシュートをするプレーヤーがいた。GKは3歩でタイミングをあわせるのでずらされる。

○最後は必ずシュートでおわる。シュートのとき、1回1回腕の出る所が違った。

○少々手をはたかれてもボールを離さない。おもいきったプレーをする。

〔女子〕

○パス・キャッチの正確さ。ルーズボールをとる。ポストでボールをうけると、どんな無理な体勢でも倒れ込んでシュートをねらう。

○つかまれても捨て身でシュートをうってくる。

○身体を入れ変えてのシュートやシュート力。手首の強さ。

○守りに厚みがあり、一人一人が責任をもって守っていた。

○サイドシュートと、ポストシュートがすごかった。

○ポストのしつこさ。

○積極的に上からや、身体を入れてのシュートスピードなど見習うべき。

チームワーク：攻撃面

〔男子〕

○体格が大きい割りに、ポストパスを通して攻める事が多かった。そして、ワン、ツー、リターンなどの攻撃などがあつた。

○パスが特に正確で早く、一人一人が視野を広くもって攻撃していたように思う。チームワークでは僕達もまあまあよかったと思うが、みならうべき点といえぱやはり、パスやシュートの正確さだろう。

○誰でもがシュートを決める自信をもっている。パス回しが早い。

○パスワークをしつかりして、ポストとフローターとの連携で確実に点をとる。

○ボールに対する執念が日本人とは違った。それにミスが少ない。相手のたるみをつくのも上手であつた。

○フローターのシュートが正確であつた。ポストプレーヤーがよく動く。

○フローターとポストのからみがとてもうまかつた。身長の高いプレーヤーがいると、どうしてもディフェンスが広くなるので、そのすきをついてうまくポストがからんでいた。

○高さで力強さを生かした攻撃を

チーム全体がこころがけていた。サイドが回り、逆のポストへ移動のとき、フローターがポストへ落として2対1を作るパターンが多かつた。一人一人がシュートは絶対決めるという心構えがみえた。

○自分達のディフェンスが前に出たので、ドイツの方は、よくポストを使つてきた。

〔女子〕

○キャッチからシュートへの早さとシュートへの強引さ。ポディーチェックされてもつぶされずにパスする点。

○ポストとのからみが多かつたので、フローターとポストとの息があつていた。

○ものすごく強引だつた。ボール回しが早かつた。少しでもつめていないとステップシュートが入つた。

○パスミス・キャッチミスが少なく、パス回しが早いこと。ポストとのコンビが良い。

○チーム全員が笛が鳴るまでシュートを諦めないという気持ちを持っていて、その場所を見習いたい。

○積極的にシュートを打つ。

○チームによりまちなちだつたが、ディフェンスに身体をとめられていてもパスを出せて、みんながそのパスをとるのがすごいと思つた。

○ルーズボールの処理が良かつた。チームワーク：防御面

〔男子〕

○背が高かつた。

○1対1が強かつた。

○よく声が出ていたし、わりこんでのずらしにも一枚目は止めていた。

○基本に忠実で、ちゃんと腰を落として声を出して動いていた。

○フロローディフェンスが上手だつた。

○フローターへボールが回るときはパスカットも見習うべきだと思つた。

○弱いチームは1対1が弱いけど、強いチームでは全くぬけず2対1の型がつくれなかつた。

○ポストチェックが厳しく驚いた。そのくせしつかりと上にもつめていた。速攻に対するディフェンスの早いにも驚いた。

〔女子〕

○声がよく出ていた。

○身体が大きいのですぐに止められてしまう。しかし、身長の高い人には前に出てあたればシュートされずにすむ事を学んだ。

○当たられるとふつとんでしまう。あのディフェンスがすごかつた。失敗したら、お互いに注意があつていたので印象的であつた。

○チームによって差はあつたけれど、全体的にフットワークが良くて、隣発力があつた。

○上から打ってくるシュートに対しては、確実につめてボールを押し返していた。

中村荷役運輸株式会社

代表取締役社長 中村 昭光

本社 〒108 東京都港区芝浦 2-3-39

電話 東京 (03) 451-4161(代)



創業70年

'87 女子ジュニア世界選手権大会 アジア地区予選のゲーム分析について

〔日本ハンドボール協会トレーニング・ドクター群〕

阿部徳之助^①，竹内正雄^②，栗岩淳一^③
宮澤恒夫^④，森川寿人^⑤，西山逸成^⑥
(協力者) 北川勇喜^⑦，藤原 侑^⑦，松井幸嗣^⑦，
上嶋美佐子^⑦
日本体育大学ハンドボール部員

- ① 自治医科大
- ② 星薬科大
- ③ 都立日野高校
- ④ 高井戸中学校
- ⑤ 九州女子大学
- ⑥ 防衛大学
- ⑦ 日本体育大

1. はじめに

昭和62年(1987)女子世界選手権大会のアジア地区予選大会が、日本、中国台北、両チームによって行われた。

第1ラウンドは、5月31日、第2ラウンドは6月2日、の2試合をVTRにおさめ、その中から両チームのゲーム分析をし、日本のジュニアの強化に役立てようと分析を試みた。

2. 方法

- ①対象 中国台北、日本
- ②日時 1987年5月31日、6月2日
- ③場所 東京都 代々木第1体育館
- ④分析項目
パス回数、攻撃に対する得点率 ($\frac{\text{得点}}{\text{攻撃回数}}$)
シュート率 ($\frac{\text{得点}}{\text{シュート数}}$)、ドリブル回数
移動距離 (200分の1のハンドボール競技場縮図を用意し、1人の検者が1人の被検者を追跡し、1試

合における軌跡を記入した。それをもとに実際の移動距離を算出した)。

3. 結果

(第1戦)

表1、図1はジュニア世界選手権アジア地区予選大会の日本、中国台北の体格、移動距離、パス回数、攻撃における得点率、シュート率を示した。

これらを見ると、身長では日本 165.8 ± 5.84 cm、中国台北 167.6 ± 5.25 cm、体重では日本 60.4 ± 3.66 kg、中国台北 59.6 ± 4.45 kgで、身長、体重ともに両チームともほぼ同じ値であった。

次に第1戦の1試合の移動距離では、日本2786 m、中国台北2636 mであった。

その内訳をみると、日本が全力疾走での前・後半の距離2528 m、中国台北2341 mで、やや日本の走行距離が多い。

さらに、これを両チームの中で最も長い距離を走った選手は、中国台北・劉素貞(18歳・身長164 cm・体

滋養強壯剤

キョーレオピン®

効能・効果

○滋養強壯の虚弱体質・肉体的疲労・病後の体力低下・胃腸障害・栄養障害・発熱性消耗性疾患・妊娠授乳期などの場合の栄養補給

薬用人参・牛黄・大蒜製剤

レオピン® ファイブ



湧永製薬株式会社

〒553 大阪市福島区福島3丁目1番39号

〒101 東京都千代田区三崎町1丁目3番12号

☎06(458)8901(代)

☎03(293)3351(代)

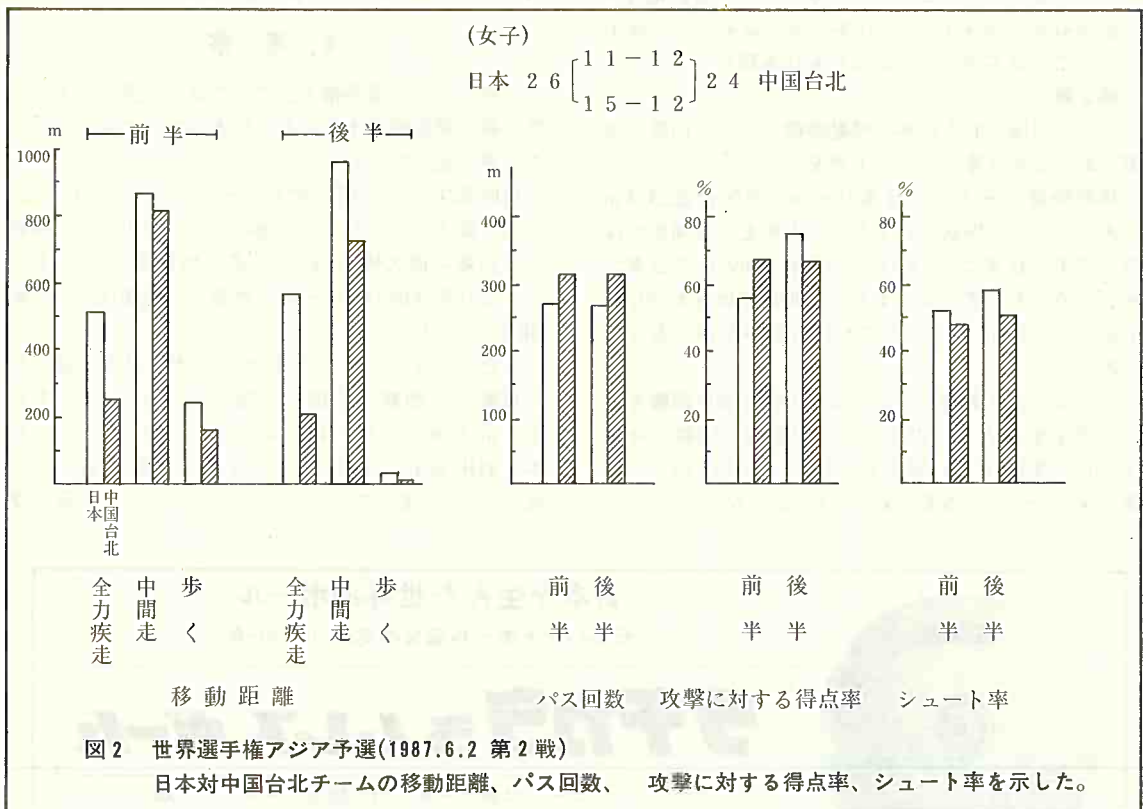
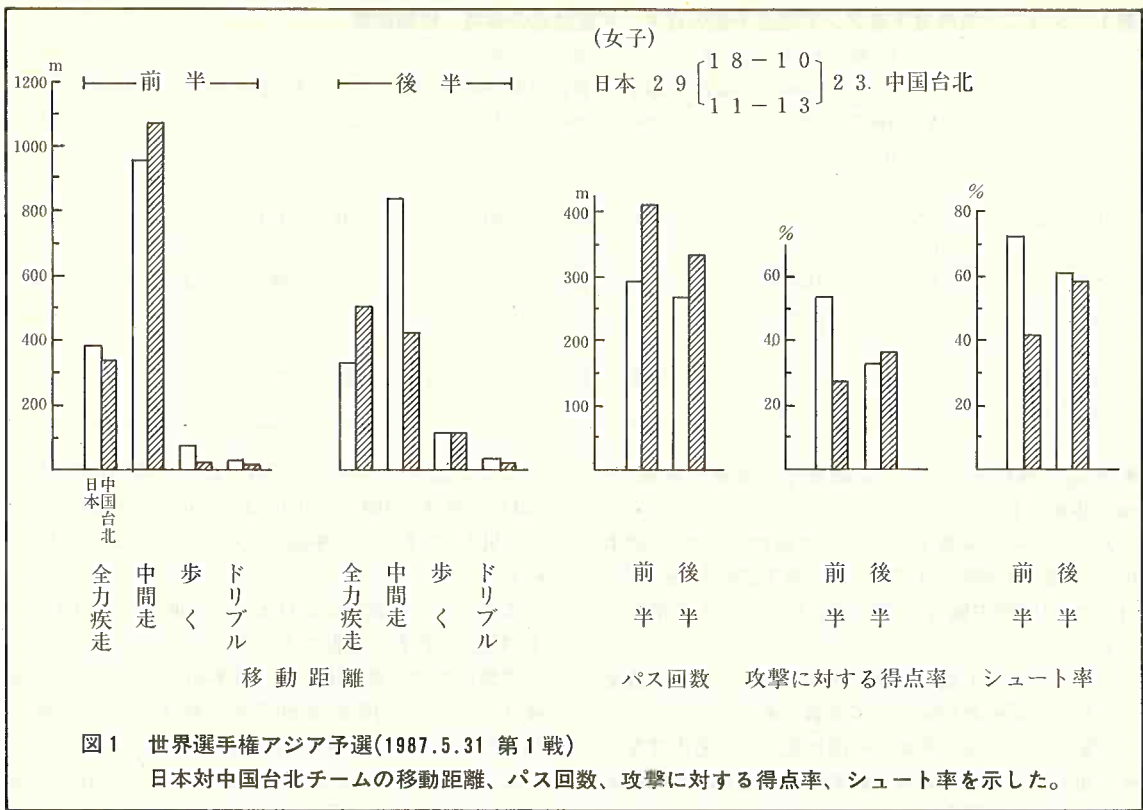


表1 ジュニア世界選手権アジア地区予選の日本・中国台北の体格、移動距離

	年齢 (才)	身長 (cm)	体重 (kg)	前 半				後 半				合計	
				全力疾走(m)	中間走(m)	歩く(m)	ドリブル(m)	全力疾走(m)	中間走(m)	歩く(m)	ドリブル(m)		
日本	X	18.7	165.8	60.4	394	956	45	25	335	843	111	38	2787
	S・D	0.78	5.84	3.66									
中国台北 (第1ラウンド5/31)	X	18.1	167.6	59.6	336	1077	160	20	504	424	110	5	2636
	S・D	1.29	5.25	4.45									
日本	X	18.7	165.8	60.4	510	856	237	—	579	961	23	—	3166
	S・D	0.79	5.84	3.66									
中国台北 (第2ラウンド6/2)	X	18.1	167.6	59.6	250	815	160	13	208	739	186	9	2374
	S・D	1.29	5.25	4.45									

重58 kg) 2445 m, 日本・武津優子(20歳・身長172 cm・体重59 kg) 5020 mであった。

1試合のパス回数を見ると、中国台北747回(前半409回, 後半338回), 日本565回(前半298回, 後半267回)で、182回中国台北が日本よりもパスを多用している。

さらにこれを1回の攻撃に使用されたパスの回数を見ると、中国台北10回, 日本8回であった。

攻撃における得点率は、中国台北32%(前半27%, 後半36%)で、日本43%(前半53%, 後半32%)であった。日本が中国台北よりも約11%高い。

これらをさらにシュート率でみると、中国台北51%(前半42%, 後半51%), 日本67%(前半72%, 後半61%)で、日本が中国台北よりも16%高かった。

(第2戦)

図2, 中国台北と日本の移動距離, パスの回数, 攻撃における得点率, シュート率を示した。

移動距離をみると、日本3166 m, 中国台北2374 mであった。その内訳をみると、全力疾走と中間走では、前・後半の日本は、1089 m, 中国台北458 mで日本が約50%多く走っている。また、中間走では日本1817 m, 中国台北1554 mで、ここでも15%日本が多く走っている。

さらに、これを両チームのなかで最も長い距離を走った選手をみると、中国台北・液淑芳(16歳・身長155 cm・体重51 kg) 3880 m, 日本・小林江利子(19歳・身長165 cm・体重62 kg) 3005 mであった。

次に1試合でのパスの回数では、日本537回(前半264回, 後半273回), 中国台北639回(前半320回, 後半319回)であった。中国台北のほうが日本よりも102回多かった。

また、1回の攻撃におけるパスの回数の平均は、日本14回, 中国台北18回であった。

攻撃における得点率では、日本66.5%(前半57.9%, 後半75%), 中国台北66.7%(前半66.7%, 後半66.7%)でほとんど同じ値であった。

さらにこれを、シュート率からみると、日本55%(前半52.3%, 後半57.6%), 中国台北51.2%, 後半54.5%)で3.8%だけ日本のほうが高かった。

4. 考 察

世界ジュニア選手権大会アジア地区予選の第1戦, 第2戦の移動距離をみると、日本のほうが中国台北よりも多く走っている。

前回報告した、'87. 女子ジャパンカップにおける、日本、韓国、アメリカ、ソ連のチームの1試合に移動した距離の最大値は4062 m, 最小値は2334 mであった。これを今回の両チームの移動した距離は、その範囲内にあった。

また、ジャパンカップ'87の個人が1試合に最も長く移動した距離での国別の順位でみると、No. 1 韓国・奇美淑(20歳・身長165 cm) 4320 m, No. 2 日本・前田重子(26歳, 身長163 cm・体重59 kg) 4270 m, No. 3 ソ連・スベトラナ・ピドリナー(21歳・身



日本が生んだ世界のボール

日本ハンドボール協会検定球 (J・H・A)

タチカラミムレスボール

タチカラのハンドボールは縫ボールと同じ構造のチューブが離れたL・B・C中空製法です。

TACHIKARA
タチカラ

タチカラ株式会社

東京都台東区松ヶ谷1-11-7
東京・大阪・名古屋・福岡・札幌

長183 cm) 3212 m, No. 4 アメリカ・キム・クラーク (22歳・身長180 cm) 2976 mであった。

しかし、今回のジュニア世界選手権大会の第1戦の日本・武津優子選手 (20歳・身長172 cm・体重59 kg) 5020 mで、これまでの記録をはるかに上回り、最も長い距離を移動したことになる。このように、ハンドボール競技では、1度交替しないと、3000 mから5000 mをへばることなく走り続けなければならないことになる。このことから、走力を高めるトレーニング、特に呼吸・循環系の強化を積極的に行う必要が望まれる。

さて、1試合のパスの回数をみると、日本よりも中国台北のほうが多く使用されている。

これは、両チームの体格がほとんど同じであり、また、攻撃の型も類似している。しかし、速攻による回数を見ると、日本23回 (前半7回、後半12回)、中国台北13回 (前半7回、後半6回)である。これらがパスの回数の差に現われたものと思われる。

次に攻撃に対する得点率をみると、第1戦の前半、中国台北は僅か27%にすぎなかった。つまり約70%はボールを保持してからシュートまでにおいて不成功に終わっていた。

後半では、中国台北のほうがやや得点率がよかったが、後半の得点率の低さが、勝敗を決定づけたものと

思われる。

第2戦では、図2に示すごとく、前半は中国台北、後半では日本のほうがよく、前・後半での両チームを比較してみると僅か0.2%日本が得点率でよかった。すなわち、日本が中国台北よりもミスが僅かながら少なかったことになる。

このように、ボールを保持し、シュートまでの試合を展開のなかでのミスの発生を最小限にし、さらに、シュート段階までの過程が重要であることはいまさら述べるまでもない。

前回女子の報告した、女子ジャパンカップでは、世界のトップチームの得点率では、前・後半とも安定した得点率を示しているのに対して、日本が前半よりも後半のほうが低くなる傾向を示している。

これは体格の差によることや、基礎体力、特に全身持久力の不足からくる疲労が影響していることも十分推察される。

ミスの多いチームは、最終的には試合に勝つことができないことを示唆しているといえよう。

日本のジュニアの選手たちは将来、全日本選手として大いに活躍が期待されている。

世界のトップレベルにあるチームと互角に試合展開をしなければならぬことから、我国のジュニア選手の養成のあり方を再検討してみる必要があろう。



The advertisement features a large background image of a handball game in progress. In the foreground on the left, a Molten handball is shown in detail, with the brand name 'molten' and 'official size weight' printed on it. The ball also has a circular logo with '50' and 'MTHJ' (Made in Japan). The background image shows players in action, with one player in the center jumping to shoot the ball. The overall color scheme is dark with white and light gray text.

瞬間、信頼の手がかり!

独自の32面体
ノンスリップ構造で
ダイナミックプレーを演出する

モルテンハンドボール

独特のリップ形状とパネル間段差の“32面体ノンスリップ構造”で確かな手がかりを生み出すとともに、ナイロン糸巻構造をほどこし、すばらしい耐久性、真球性をも実現したモルテンハンドボールは、日本ではじめて国際ハンドボール連盟 (I.H.F.) 公認を獲得。ハンドボールの圧倒的な人気と信頼を集めています。

●日本ハンドボール協会検定球 (J.H.A.) ●国際ハンドボール連盟公認球 (I.H.F.)

モルテン
ハンドボール

株式会社 **モルテン**
東京本社 東京都墨田区横川 5-5-7 電話 (03) 525-7581
東京 大阪 広島 名古屋 福岡 札幌 ロサンゼルス ジュネーボ

近畿

高岡商23 14 9 6 4 10小 杉	▼決勝 有磯 18 9	▼3位決定戦 小杉 12 34 11 12	高岡商 24 24 3 6	有磯 20 27 7 6	富女短 27 6	高岡商 27 6	▼2回戦 富山北	富女短 20 27 7 6	小杉 24 24 3 6	有磯 24 24 3 6	準決勝 高岡向陵	高岡向陵 15 9 15 8	高岡女 16 17 13 8	小杉 16 17 13 8	富女短 16 16 6 6	水見 13 13 5 5	富山北 13 13 5 5	▼1回戦 (女子) 高岡第一	高岡向陵21 12 9 10 7 17水 見	▼決勝 高岡商 28 22	高岡向陵 41 24 18 17	水見 24 24 17 17	高岡向陵 41 23 16 18	小杉 41 23 16 18	大沢野工
----------------------------------	----------------------	--------------------------------	---------------------	--------------------	----------------	----------------	-------------	---------------------	--------------------	--------------------	-------------	----------------------	----------------------	---------------------	---------------------	--------------------	---------------------	----------------------	------------------------------------	------------------------	------------------------	----------------------	------------------------	----------------------	------

第21回滋賀県室内総合選手権

(2月11日/彦根東高体育館)

▼決勝 彦根商高 22 18 8 11	滋賀ク 18 11	▼準決勝 彦根商高 31 25 1 12	松下ク 25 19 12 9	彦根東高 19 33 9 13	滋賀ク 33 13	▼2回戦 彦根東高 13 9	▼1回戦 彦根東高 13 9	(女子) 多賀中	※滋賀教員は8年連続8回目の優勝。	滋賀教員24 14 10 8 11 19長浜北高	長浜北高 27 31 18 23	滋賀教員 31 23 23 23	▼準決勝 京セラHC 23 24 12 16	長浜北高 24 28 16 18	高島ク 28 25 18 21	滋賀教員 25 21 21 21	▼2回戦 高島高 棄権	京セラHC 棄権	守山ク 16 9 9 9	高島ク 23 21 21 21	野洲高 23 13 13 13	▼1回戦 (男子) 彦根東高	津田送球会 18 11 11 11	高島ク 18 11 11 11	野洲高 23 13 13 13	滋賀教員 23 13 13 13	大津自衛隊 彦根市役所 八幡ク
------------------------------	-----------------	-------------------------------	----------------------	-----------------------	-----------------	-------------------------	-------------------------	-------------	-------------------	-----------------------------------	------------------------	------------------------	---------------------------------	------------------------	-----------------------	------------------------	-------------------	-------------	--------------------	-----------------------	-----------------------	----------------------	-------------------------	-----------------------	-----------------------	------------------------	-----------------------

第8回京都府高校選手権

(4月16、17、23、24、29日/光華大原野グラウンドほか)

嵯峨野	北嶽	向日	洛陽	洛水	桂北	▼3回戦 大谷	日吉	西野	洛西	嵯峨	堀野	乙訓	北嶽	桃山	向日	洛陽	東山	洛水	西野	久御	北嶽	塔南	京都	城南	▼1回戦 (男子)	華大原野	彦根商高23 12 11 7 6 13 滋賀ク		
23 25 12 5	15 18 10 11	19 21 7 11	38 33 8 19	19 14 10 13	14 14 10 10	19 17 14 13	30 19 5 15	15 15 11 11	25 42 8 12	17 17 12 6	20 33 6 11	24 30 9 4	30 22 10 14	34 25 14 11	22 34 10 14	22 34 10 14	22 34 10 14	22 34 10 14	22 34 10 14	22 34 10 14	22 34 10 14	22 34 10 14	22 34 10 14	22 34 10 14	22 34 10 14	22 34 10 14	22 34 10 14	22 34 10 14	
堀川	乙訓	桃山	東山	西野	久御	北嶽	平星	洛陽	東山	嵯峨	堀野	乙訓	北嶽	桃山	向日	洛陽	東山	洛水	西野	久御	北嶽	塔南	京都	城南	華大原野	彦根商高23 12 11 7 6 13 滋賀ク			
31 19 5 2	21 11 4 7	20 9 9 9	13 7 10 6	12 14 7 9	14 37 11 9	11 25 9 4	8 25 7 3	25 16 13 13	18 18 15 9	29 34 9 5	7 9 4 5	20 12 12 12	24 14 16 12	15 26 13 15	18 24 12 15	24 24 15 15	33 20 16 11	33 20 16 11	33 20 16 11	33 20 16 11	33 20 16 11	33 20 16 11	33 20 16 11	33 20 16 11	33 20 16 11	33 20 16 11	33 20 16 11	33 20 16 11	
西京商	精東	洛水	洛水	田辺	北嶽	南嶽	西野	北嶽	嵯峨	山崎	鴨城	乙訓	洛陽	東山	日吉	桂	桂	桂	桂	桂	桂	北嶽	北嶽	向日	向日	向日	向日	向日	向日
31 19 5 2	21 11 4 7	20 9 9 9	13 7 10 6	12 14 7 9	14 37 11 9	11 25 9 4	8 25 7 3	25 16 13 13	18 18 15 9	29 34 9 5	7 9 4 5	20 12 12 12	24 14 16 12	15 26 13 15	18 24 12 15	24 24 15 15	33 20 16 11	33 20 16 11	33 20 16 11	33 20 16 11	33 20 16 11	33 20 16 11	33 20 16 11	33 20 16 11	33 20 16 11	33 20 16 11	33 20 16 11	33 20 16 11	33 20 16 11



株式会社デサント/デサントトレーディング株式会社

添正	▼3回戦	楓原	斑鳩	畝傍	生駒	添上	高田	東大	正強	▼2回戦	郡山	▼1回戦	館	総合公園体育館、生駒市市民体育館	東宇治	▼決勝	西宇治	▼3位決定戦	京都女	東宇治	▼準決勝	京都女	西宇治	向陽	東宇治	▼3回戦	京都女	西乙訓	西宇治
上強													（4月29、30、5月1日）生駒市		11	13										22	9	20	
19	20	13	16	13	12	21	24	17	17		19				7	6										5	8	9	
高田	東大		奈良	一天	上奈	富雄	片桐	郡山			広陵				向陽		西宇治	向陽	西乙訓	明德	光華	洛北				桃山	久山	塔南	

第39回奈良県高校春季大会

御坊	▼2回戦	住友	和歌山	金清	▼1回戦	和歌山	（4月29、30日、5月1、3日）	和歌山県春季選手権	添上	▼決勝	白藤	添上	▼準決勝	白藤	片桐	短大	添上	▼2回戦	一条	富雄	▼1回戦	富雄	楓原	▼決勝	添上	▼3位決定戦	正強	▼準決勝	楓原	生駒
54	25	24	22						8	22	19	15	19	26	11	14											15	13	15	
14	18	17	21						3	14	13	13	6	10	12												11	8	11	
桐蔭	金清	箕島	和歌山						5	片桐	短大	一生	十津	富雄	上郡												生駒	生駒	添上	斑鳩

那賀	貴志	粉河	▼1回戦	那賀	▼決勝	市和	那賀	▼準決勝	市和	粉河	耐河	那賀	▼2回戦	市和	箕島	新宮	粉河	耐河	笠田	県和	▼1回戦	御坊	▼決勝	県和	御坊	▼準決勝	那賀	粉河	那賀
28	15	19	22			23	26	18	32	22	34	9	38	29	29	22	15	53								23	23	27	38
6	9	10	9			16	13	17	17	9	7	8	19	25	24	17	13	1								13	19	16	17
県和	御坊	箕島	新宮			粉河	耐河	箕島	新宮	笠田	県和			御坊	海南	桐蔭	近大	貴志	新宮	和東						那賀	住友	和歌山	和歌山

岩出	▼決勝	岩出	▼準決勝	岩出	打田	貴志	岩出	▼1回戦	岩出	▼決勝	貴志	岩出	▼準決勝	貴志	白馬	那賀	岩出	▼2回戦	有功	岩出	那賀	▼1回戦	粉河	▼決勝	那賀	粉河	▼準決勝		
11	8	25	11	33	9	21	21		6	29	22	32	25	28	25														
6	8	8	10	4	8	7	17		7	11	9	7	24	5	13														
14	岩出	打田	貴志	粉河	金屋	那賀	桃山		12	白馬	那賀	有功	岩出	湯浅	近大	金屋	打田	紀伊								11	那賀	笠田	貴志

くらし、ひろげるジャスコのカード

会員募集中

ファッションから食品まで
サインひとつでお買物。

ご入会手続きも簡単です。
お気軽にお申込み
ください。

JUSCO CARD
1234-56789-1231
87*08*JR

お支払いもいろいろ
●月々のお支払いがラクな
リボルビング払い
●手数料なしのおトクな
一回払い
●お求めはいま、お支払いは
ボーナス一括払い

お申し込み、お問い合わせは、ジャスコ各店
サービスカウンター又は、販売員におたず
ねください。



中国

全国高校選抜中国地区予選

(2月13、14日/鳥根県立体育館)

男子

リーグ戦

尾道	27	1611	77	14	飯
(広島)				(鳥根)	
境	18	810	79	16	総
(鳥取)				(岡山)	
岩陽	17	710	78	15	尾
(山口)					
飯南	29	1316	1011	21	総
岩陽	23	1211	88	16	境
尾道	21	138	85	13	境
岩陽	17	512	45	9	総
境	19	109	810	18	飯
尾道	21	1011	76	13	総
岩陽	31	1714	86	14	飯

山口県春季一般選手権	(4月2、3日/県立体育館)	男子	①山陽女(広島・4勝)	②岩国商(山口・3勝1敗)	③境(鳥取・2勝2敗)	④玉野光南(岡山・1勝3敗)	⑤松江市女(鳥根・4敗)
山口県春季一般選手権	(4月2、3日/県立体育館)	女子	①山陽女(広島・4勝)	②岩国商(山口・3勝1敗)	③境(鳥取・2勝2敗)	④玉野光南(岡山・1勝3敗)	⑤松江市女(鳥根・4敗)

山口県春季一般選手権	(4月10、16、17日/倉敷商高)	男子	①山陽女(広島・4勝)	②岩国商(山口・3勝1敗)	③境(鳥取・2勝2敗)	④玉野光南(岡山・1勝3敗)	⑤松江市女(鳥根・4敗)
山口県春季一般選手権	(4月10、16、17日/倉敷商高)	女子	①山陽女(広島・4勝)	②岩国商(山口・3勝1敗)	③境(鳥取・2勝2敗)	④玉野光南(岡山・1勝3敗)	⑤松江市女(鳥根・4敗)

山口県春季一般選手権	(4月10、16、17日/倉敷商高)	男子	①山陽女(広島・4勝)	②岩国商(山口・3勝1敗)	③境(鳥取・2勝2敗)	④玉野光南(岡山・1勝3敗)	⑤松江市女(鳥根・4敗)
山口県春季一般選手権	(4月10、16、17日/倉敷商高)	女子	①山陽女(広島・4勝)	②岩国商(山口・3勝1敗)	③境(鳥取・2勝2敗)	④玉野光南(岡山・1勝3敗)	⑤松江市女(鳥根・4敗)

各種記念品

バッチ・メダル・優勝カップ・楯
トロフィー・ネクタイ止・金銀製品

製造販売

シマダ 記章株式会社

電話 東京(03)973-0741(代) 東京都板橋区中丸町49-3
〒173 FAX. 東京(03)973-0674

asics TIGER



asics 1005

アシックスは
オリンピックキャンペーンの
オフィシャルスポンサーです。

百個のグリップ力。アウトドア専用。

マルチコンソールが、グラウンドを確実にグリップする。初のアウトドアハンドボールシューズ、スカイハンド® SL。

アウトアースールには、片足に100個以上のポイントを独特の形状で配置。アウトドアのグラウンドコンディションに確実に応えるハンドボールシューズの登場です。側面には傾斜をつけ、倒れ込みシュートを打ちやすく。かかと部を拡げて着地衝撃を吸収しやすい形状に。大空での空中戦を十二分に意識した、初めてのハンドボールシューズです。

品番 THH501 品名 スカイハンド® SL
メーカー希望小売価格 ¥9,200
カラー/ホワイト×レッド
ホワイト×ネイビーブルー
サイズ/22.5~28.0cm

株式会社 アシックス

●お問い合わせは株式会社アシックス消費者相談課までどうぞ。〒650 神戸市中央区港島中町7丁目1番1号 ☎(078) 303-2233(専用) (078) 303-3333(大代) 〒130 東京都墨田区錦糸4丁目10番11号 ☎(03) 624-1814(専用) (03) 624-2221(大代) ■本文中®は®アシックスの登録商標です。

視界、360°

経済情勢の視界、窺好ですか？

時々刻々と移り変わる情報をいかにすばやくキャッチして
いかに的確な判断を下していくか。それが資産運用の条件です。
東洋証券は、あなたの資産運用の水先案内人。
確かな情報網とキメ細かいサービスで、明日への視界をひろげます。



東洋証券

■本店：〒103 東京都中央区日本橋1-20-5 ■電話：03(274)0211 ■資本金：59億円強 ■社員数：1,350人
■店舗網：全国40店舗 海外：ロンドン・ニューヨーク

中期国債ファンド

〈公社債投資信託・追加型〉〈設定・運用は日興投信〉

好利回りで、出し入れ自由
■1カ月復利で好利回り。■便価格。
■1カ月据え置けば、手数料なしで出し入れ自由。
(お申し込みは10万円以上1万円単位)

御声援ありがとうございました。

